



西新潟中央病院

NST NEWS 第87号

NST: Nutrition Support Team

発行日：2021年9月8日

担当：NST委員会

編集：栄養管理室

連絡先：内線 1302

NSTミニレクチャー第58回 ～栄養剤（医薬品）について～

月に1度の栄養の勉強、NSTミニレクチャーのコーナーです。今回は栄養剤についてです。経腸栄養剤の院内採用薬は6種類あります。そこで今回はそれぞれの特徴などをお話していきます。

1.経腸栄養剤の種類について

経腸栄養剤は大きく分けて3つあります。消化の必要度合いにより種類が分けられています。

それぞれの違いと医薬品を以下の表にまとめてみました。

	成分栄養剤	消化態栄養剤	半消化態栄養剤
消化機能	不要	やや要	要
窒素源	アミノ酸	ペプチド	タンパク質
脂質	少ない	なし～多い	多い
院内採用	エレンタール®	ツインライン®	エンシュア®リキッド・H、エネーボ® ラコールNF®配合経腸用液・半固形剤 イノラス®、アミノレバンEN®
主な適応	クローン病、消化吸収障害 周術期、急性膵炎など	消化吸収障害 周術期など	小腸、膵臓、胆道系の 消化吸収機能が保たれている場合
注意点	アミノ酸代謝異常には禁忌 脂肪含量が極めて少ないため 必須脂肪酸欠乏症を予防する 必要がある		※薄色文字は患者限定薬

2.半消化態栄養剤の個々の特徴について

当院では半消化態栄養剤5種類（+患者限定品2種類）の採用があります。そこで個々の特徴をまとめました。

エンシュア®

リキッド（1Kcal/ml）：腎不全末期に対して使える

H（1.5Kcal/ml）：リキッドのカロリーや成分が1.5倍

エンシュア®には含まれていない微量元素が含まれている

エネーボ®

：エンシュアにカルニチン、モリブデン、

（1.2 Kcal/ml）セレン、クロム含有したもの

ラコールNF®（1 Kcal/ml）

配合経腸液：粘度が低く詰まりにくい

半固形剤：経管のみ使用可

液状ではないため下痢、誤嚥性肺炎になりにくい

アミノレバンEN®（210Kcal/50g）

：タンパク質の含有量が多いため肝疾患に対しても使いやすい

イノラス®（1.6 Kcal/ml）：少量で高カロリー摂取できる

服用時のPOINT

栄養剤の缶などから直接飲んでしまうと、液体が固まってしまうことがあります。これは、タンパク質が口内の酵素と反応してしまうためです。1日かけて1個を服用する場合には固まるのを防ぐ為コップなどに入れてください。

≪文責：薬剤部 青山≫